

## 第6回長尾地区学校再編計画地域協議会 会議録

日 時：平成20年3月14日（金） 午後7時00分から9時02分

場 所：長尾支所 3階委員会室

参加者：委員20名（欠席8名）

事務局 教育長、教育部長、教育総務課長、学校教育課長、担当職員4名

傍聴人：なし

### 1. 会議の公開・非公開について

公開とする。

### 2. 議題

#### （1）報告

①第5回長尾地区学校再編計画地域協議会結果の報告

②第3回学校再編計画地域連絡協議会結果の報告

#### （2）議事

①第3回学校再編計画地域連絡協議会結果について

②長尾地区学校再編計画地域協議会の協議結果について

（意見）

#### ・小学校の再編について

（委員） 多和小学校を早期に統合するとなっているが、今後、多和地区として「学校をみんなで考える会」というようなものをつくり、学校の在り方について考える時間を持つ予定だ。再編はやむなしという感情をもっていながら学校が無くなるのは寂しい。ある程度期間を設け、住民が再編について認識を深める期間が必要。みんなの総意で納得いくような方向で前向きに検討していきたい。

（事務局） そのような内容を会長に確認して報告書に記載する。

（委員） 今後、前山地区も地域住民と協議をしながら進めていくと思う。

#### ・中学校の再編について

（委員） 中学校の3校案、4校案の中で校区の見直し案が必要。

スクールバスで多和地区だけでなく、前山の遠距離者のことも考慮してほしい。コミュニティバスがあるからといって、それを通学を考えるのではなく、スクールバスはスクールバスとして確保してほしい。

（委員） 校区を見直して、3校案がよい。現状のところ建てるのであれば、子どもに支障をきたすので、別の場所で建設を考えてほしい。

（意見）

（会長） 今日が最後の協議会なので、みなさんから一言ご意見をお伺いしたい。

（委員） 前山は存続を希望する。児童数が減って再編やむなしとは思いますが、保護者の意見も聞いてみたい。大変難しい問題であると思った。

（委員） 私自身も友達が多かったのですが、基本的には統合には賛成であるが、各地域の人達の意見もあるのでよく考えてほしい。

（委員） 長尾幼稚園、長尾小学校も古い。安全の面でも新しいのがいいと思う。

- (委員) 統合については、地域、家庭の声を聞いてほしい。
- (委員) 造田から長尾まで来るのは親として遠いという感じがする。それと先生としての立場で教育的な話を聞きたかった。
- (委員) 校舎建替えは必要だと思う。行政からすれば合併の特例措置があるのかと思った。
- (委員) 子どもが小さい時、義務教育期間は学校が近い方がいい。出来るだけ子どものことを考えて再編してほしい。
- (委員) 子どもは小学校に3和かけて歩いて通っている。通学手段の2.5和以上のマイクロバスを早く取り入れてほしい。中学校の6和というのは簡単に和数だけでなく道に応じて考えてほしい。
- (委員) 保護者としての思い、地域としての思いがそれぞれある。今後いろいろな情報を知らせてほしい。
- (委員) 造田は地域をあげて存続という意見を出している。中学校の再編は小学校から同じに中学校に行ったほうが良いと思う。
- (委員) 再編は不賛成である。次世代に負担をかけないように、よく検討して再編を考えてほしい。
- (委員) 近くに学校があるのがいい。大きく合併するのは賛成ではない。協議をするのならもう少しスピードをあげてやったほうが良い。予算のこともあるし、他地域のこともあるので長尾も取り残されないようにしてほしい。
- (委員) 造田地区の存続ということで勧めている。地域の人達の声もいろいろある。中学校の再編についても保護者といろいろ話をしている。
- (委員) 中学校の再編は、小学校を分けずに中学校にいったほうが良いと思う。3校、4校案にしてもどちらも一長一短ある。
- (委員) 再編に基本的にあまり賛成でない。子どものためを一番に考え、通学の遠距離はいいとは思わない。少数でも近くの学校がいいというのが基本的な考えである。少数意見も考えてほしい。学校が無くなれば地域も衰退するのではないか。地域としてもっと考えていかなければいけない。
- (委員) むかしは1学級30人くらいいたが、いまは大変少なくなっている。時代の流れだと思う。
- (委員) 出来るだけ早く新しい学校を建ててほしい。意見は意見として出してもらい早くしてほしい。
- (委員) 子ども達の教育環境の整備充実を考える。最近の子ども達は競争意識が低くなっている。再編は中学校を先にして、付随して小学校、幼稚園としていくのがいいのではないかと思う。地域の方々と時間を十分にかけてもらいたい。
- (会長) これからの子ども達に、いい環境といい先生方で育ててほしい。前山小学校も生徒の減少で学校として成り立たない状況にきている。地域の方は学校に対しての思い入れは非常に大きい。学校再編はいいチャンスであり、さぬき市の合併は大きなきっかけ。一つの転機として、みなさんの意見を集約して今後に生かさせていただきたい。
- (事務局) 通学距離に関しては文部科学省の中で小学校は4和、中学校は6和、いずれも徒歩の基準である。この学校再編の中では小学校2.5和は徒歩、中学校6和は自転車ということにしている。

以上